

平成22年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493800039	事業の開始年月日	平成19年2月1日
		指定年月日	平成19年2月1日
法人名	特定非営利活動法人 折本福祉サービス		
事業所名	グループホーム蘭寿おりもと		
所在地	(224-0043) 神奈川県横浜市都筑区折本町1374-1		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成23年2月5日	評価結果 市町村受理日	平成23年5月13日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ホームの周りは緑に囲まれ、田畑が多く、散歩など環境面には恵まれております。日常生活の中で利用者様と職員とが仲良く、一緒にお散歩する事から1日が始まり、天気が悪い日などはユニット内でトランプ、ぬり絵、歌レクなどたくさんの遊びを取り入れ、楽しんで過せる環境を提供できるように取り組んでおります。1年を通じて季節に応じた様々な行事を行い、お花見、やきいも大会、歌謡ショー、踊りなど時にはドライブを兼ねて回転寿司など外食にも出かけ、お好きな物を食べられている様子は、本当にニコニコと楽しそうです。地域での活動も活発で、獅子舞やお神輿、盆踊りなどにも積極的に参加し地域の皆様との活動も行なっております。利用者様と職員とが一体となり喜びも悲しみも共有、傾聴させて頂き、利用者様にとってより良い方向に行くように日々取り組んでおります。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク 神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成23年3月4日	評価機関 評価決定日	平成23年4月20日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<事業所の優れている点>
◇利用者本位の支援の実践
平成22年4月に理念を「利用者本位」に改めて、全職員が支援のあり方を常に利用者の立場で考え、利用者本位の介護実践に努めることを目的としている。
◇地域交流の密接化
法人代表者が地元に住居することから、事業所も町内会に加入し、地域のお祭りや盆踊りなどに利用者が積極的に参加して、地域の方々との触れあい・交流を深めている。正月の獅子舞やお祭りの御輿が事業所に訪れ、利用者を楽しませてくれていた。
◇統一ケア・マニュアルの活用
既存の統一ケア・マニュアルを見直して、事業所内での職員間でケアに差が出ないように、日常的なきめ細かなケア手法を統一して、事業所内職員が誰でも均質なケア・サービスを提供できるようにしている。
<事業所が工夫している点>
◇排泄面での自立支援
利用者で排泄が自立できていない方々の排泄パターンを把握し、自立支援のため明るく優しくトイレ誘導を行った結果、利用者も自立に向けて意欲的に取り組み、一人が自立して、リハビリパンツから布パンツに移行した。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム蘭寿おりもと
ユニット名	いぶき

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
		○	3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

蘭寿おりもと

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は「利用者本位」。利用者本位の優先順位を常に考え、共有、実践し、利用者様にとってより良い生活が送れるように努めているところです。	・理念は平成22年4月に見直して「利用者本位」とし、各ユニットの事務室に掲示している。 ・職員は職員会議の中で「その場その場で何をするのが利用者本位なのか」を話し合い、実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩の時に近所の農家の方々と会話したり、地域の盆踊り大会、獅子舞、お神輿などに参加したりしています。	・町内会に加入して、利用者は地域の夏祭り・盆踊り・防犯訓練に参加したり、散歩時に、地域の方と挨拶を交わして交流を深めている。 ・正月の獅子舞が事業所に来て利用者を楽しませている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地元神社に初詣に行ったり、町内で行なわれている行事（祭事）に積極的に参加し、地域の人々との交流を図っている。また、こども110番など協力できるようにしている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度は運営推進会議を開催出来ていない。今後定期的に開催できるように体制を整えていく。	・運営推進会議は、平成21年3月、7月に開催したが、事務所の都合により、その後実施していない。	・運営推進会議は事業所の状況を地域の方々にお知らせして、協力をお願いする絶好の機会です。開催頻度の向上を期待します。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	役所の担当の方と常に情報交換を行うようにし、利用者様、ご家族を交えた面談の場などを持っていただき、より良いケアに取り組んでいくように心がけています。	・都筑区役所高齢支援課、生活保護課へ事業所の運営や業務上の問題点などを報告し相談している。	

蘭寿おりもと

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	常に利用者様の安全を考え、全員の方々が安心して過ごしていけるように努力しています。しかし、玄関の施錠はなかなか難しく検討しなければならない。	・職員は身体拘束ゼロの手引きにて勉強会を行い、正しい理解に努め、現在拘束はない。 ・利用者の安全を考慮し、玄関は施錠している。	・事業所内での利用者の行動の見守りを強化するなかで、日中の玄関施錠をしないことの検討を期待します。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待は身体的なことはもちろん、言葉の暴力など間接的な虐待も含めて見逃さないように心がけています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者様が暮らしていく中で、今までの人生と変わらず過ごしていただけるように、お守りしていかなければならない。その為にももっと勉強が必要と感じています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の事前に十分な説明、質問の時間を取り、話し合いを行い、利用者様が納得できるように取り組んでいる。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族とは頻繁に面談を行い、来訪時などは必ず、2者または3者でお話している。両方の意見が違う際は、職員も介入し、ご提案させていただく場合もある。	・家族の来訪時には声かけし、積極的に意見や要望を聴いて、運営に反映している。	

蘭寿おりもと

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	1ヶ月に1度の会議の他、意見、提案など普段から話を聞ける環境が出来るように取り組んでいる。	・管理者はユニット会議などで職員から日常業務の意見や提案を聴き、業務運営に反映させている。 ・具体的採択事例としては、申し送り時に利用者の排泄・服薬・入浴の状況を記載することとした。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	いかなる時でも気軽に相談が出来、ユニットの問題点を把握し、職員が疑問を持ったまままで過ぎていかないように心がけている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部、内部研修の機会を設けたり、介助方法など疑問を早急に解決できるようにし、一人ひとりに合わせて声を掛けるように心がけている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム同士での交流を重ね、認知症の取り巻く環境やどうかかわりを持つか互いに勉強、理解し、ユニットに反映出来るようにしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に十分に説明、質問、理解の場を設け、フェイスシートによる情報収集と入居後の24時間生活変化シートにより、行動パターンや気分を左右する要因の把握をしている		

蘭寿おりもと

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前より十分な面談を重ね、より良い関係づくりに努め、利用者様及びご家族の生活に対する意向を大事にしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」ま ず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	24時間生活変化シート の活用、1週間後にご家族への連絡など初期対応には、特に対応の見極めに努め、生活全般の解決すべき課題を目標事項にし、支援内容を決定している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活の中で共同生活の場と言う認識を持ち、より良い関係の向上に努める。また、目標とする課題を利用者様の立場に立って、共に達成できる様努力する。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の来訪を共に歓迎し、イベントへの参加を呼びかけている。また毎月の近況報告の送付や有事にはその都度ご家族と連絡を取るなどより良い関係の向上に努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前より参加していた定期演奏会や電話希望の際の迅速な対応などの他にご家族への情報提供や面会者との対応に注意している。	<ul style="list-style-type: none"> ・行きつけの美容院への支援や、家族と一緒に墓参りに行くこともある。 ・友人や知人来訪時に居室で歓談できるように、場所造りや湯茶のサービスをしている。 	

蘭寿おりもと

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	常に利用者様全員に目を配り、良好な関係が築けるように努力し、孤立してしまわないように常に心がけている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も家族へ連絡したり、訪問するなど出来る範囲で努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	「利用者本位」の理念の下、日常のかかわりの中でも常に「どうすることが望ましいのか」を考え、より良い方向に行くように努めている。	・会話ができる人には、日常の会話の中で希望、意向の把握に努めている。 ・コミュニケーションが取りにくい利用者とは、日常の行動や表情の中から、意向や希望を汲みとるように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までの生活歴などコミュニケーションの中から把握に努め、利用者様の1番良い心地よい生活環境を作り、より近いものにしていくように心がけている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の申し送りや業務日誌、連絡ノートなどからの情報収集、職員などからの情報交換など情報共有の場を出来る限り持ち、現状の把握に努めている。		

蘭寿おりもと

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回の会議はもちろん、ケアカンファ等で職員の意見を出し合い、常に利用者様の状況把握に努め、よりよいケアを行えるように取り組んでいる。	・介護計画は、主治医・看護師の所見に、本人や家族の意向を踏まえて作成している。 ・見直しは通常6か月毎に行うが、利用者に変化があるときは、期間内でも必要に応じて見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録や申し送り、連絡ノートを活用し情報を共有しながら業務を遂行し、色々な情報を元に介護計画の見直しに努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	情報を共有する事により変化に対応出来るサービスを皆で実践し、色々な人意見を取り入れ、多機能化に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の資源を把握する様に努め、利用者が安全で豊かな暮らしが出来る様に努めるようにしています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科、神経内科、皮膚科、歯科などの往診があり、普段の健康状態のチェックおよび早期発見、早期治療を心がけている。また、入居前のかかりつけ医にも受診できるように配慮している。	・本人や家族の希望があれば、かかりつけ医からも受診ができるように支援している。 ・提携医往診時の診断所見は、個人記録に記録して利用者の健康管理に活用している。	

蘭寿おりもと

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週看護師に状況報告を行い、適切な受診や看護を受けられるように努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	往診医が専門的な症状や入院に繋がるような病状の時は適切な病院を紹介していただき、常に病院関係者との関係作りに努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	現状では終末期を迎えた利用者様がいなが、可能性のある利用者様ご家族とは話し合いを行なっている。また利用契約時に現在の医療対応、施設対応の限界について説明を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・提携医は利用者が重度化した場合の緊急搬送必要時の判断基準を明示し、家族にも理解を得て、事業所として取り組んでいる。 ・職員は重度化した場合のケアについて、マニュアルに基づき研修中である。 	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時対応のチャート表を電話の近くに掲示したり、説明したりして実践力が付く様に努めています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の消防署指導の下避難訓練の行い、避難経路や消火器のある場所、使い方など確認している。また、地域の方々にも協力をお願いし、協力できる体制をとっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・消防署の指導の下、避難訓練を行ない、メガホンのサイレン音を合図に、近隣住民5名の協力を得た。近隣在住の職員が多く、非常時に駆けつける体制がある。 ・水・非常食の備蓄がある。 	

蘭寿おりもと

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室に入室する際のノックはもちろん、トイレ誘導の声掛けにも気を遣い、相談事などはご本人の居室で行うようにしている。また、否定的言葉を使わないように心がけている。	・利用者は人生の先輩であるとの思いから、礼儀正しく接し、日頃より言葉づかいにも配慮している。 ・利用者からの依頼事項なども謙虚に耳を傾け、可能な限り受容するように配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お茶の時間の飲み物の選択や散歩など、基本的に身体に危険がなければ自由にして頂き、自己決定する場を出来るだけ増やすように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	常に利用者様の把握を行い、体調やペースに合わせ、利用者様の希望に沿った生活が送れるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者様一人ひとりに合った見出しなみが出来るように、化粧水やリップなど用意し、いつでもおしゃれが出来る様に支援しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備、片付けなどのお手伝いを無理の無い、出来る範囲でお願いしている。	・できる方には食事の準備や後片付けなどを手伝って貰っている。 ・時には利用者とともに、テレビや新聞で話題になったメニューを調理したり、外食を楽しんでいる。	

蘭寿おりもと

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量など業務日誌などに記載し、食事量、水分共に確保できるように、一人ひとりにあつた量を提供している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事後のケアはもちろん、外出後の手洗い、うがいも心がけている。介助が必要な方には職員と一緒に口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意のある方には見守りを、その他排泄パターンを読み、声掛けして、誘導を行ったり、様子観察しての誘導を行っている。出来るだけトイレで排泄が出来るように努めている	・排泄チェック表により排泄パターンの把握に努め、自立支援としてトイレ誘導に努めている。 ・自立支援成功例として、リハビリパンツから布パンツに改善した人もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量はもちろん、牛乳や食物繊維の豊富なものを食事に取り入れたり、運動、規則正しい生活など個々に応じた予防に努めています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	基本的な入浴可能時間が決まってはいるが、体調や状況に応じて臨機応変な対応を行っている。入浴の際は体調に問題ない程度にゆっくりと過ごせるように支援している。	・入浴は基本的には2日に1回で時間も決めてはいるが、利用者の状況により弾力的に対応している。 ・入浴を好まない方には、時間や人を変えての声かけなど工夫している。	

蘭寿おりもと

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	リビングでは21:00以降は大きな声で話さないことや廊下の電気を常夜灯に切り替えるなどの環境整備や職員が巡回を行い、一人ひとりが気持ちよく眠れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	普段から利用者様の様子観察を怠らないようにしている。その他、薬について内服一覧を作成し、内服薬の確認、成分などの把握に努めている。また、利用者様にも薬の説明を行なうなどしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事の片付けなどの役割の他、レクなどは強要せず、一人ひとりが何をしたいのかを考え、支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常の散歩以外の外出は基本的にはご家族にお願いし、実施している。ご家族にはご本人希望をお伝えしている。	・天気が良ければ毎日、近くの公園や川べりに、車いすの方も散歩に出掛けて楽しんでる。 ・職員と一緒に食材などの買い物に出掛けて楽しむ方もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理できる人にはお金の管理をしてもらっているが、出来ない人に関しては、事務所で預り、必要な時に渡している。		

蘭寿おりもと

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は使いたい時に使えるようにしてある。また、ご家族からの電話もすぐにお繋ぎしている。手紙に関しても、必要なものは揃え、出したい時に出せるようにしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に清潔であるように心がけ、室温も適温であるようにし、廊下やリビングなどは季節の花や折り紙などで細工し、雰囲気を出すように工夫している。	<ul style="list-style-type: none"> ・リビングは窓からの採光は豊かで明るく、換気にも配慮され、快適な居住環境が保たれている。 ・室内は利用者同士の歓談や、または一人でもくつろげるように、ソファや椅子の配置に配慮している。 	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングのイスとは別にソファを用意し、思い思いに暮らせるように工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人、ご家族と共に、テレビなど家具の配置を検討したり、入居後も希望に合わせて対応できるように取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・室内にはエアコン・クローゼットを備え、馴染みの調度品、仏壇を置いている方もいて、落ち着いた自分の部屋となっている。 ・職員は換気に配慮し、居心地よく、過ごせるように支援している。 	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	食後の食器拭きや洗濯物たたみなど協力をいただいたり、トイレマークや入浴中の札、札など工夫し、極力自分自身で出来る事はして頂き、必要な時に支援している。		

蘭寿おりもと

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は「利用者本位」。利用者本位の優先順位を常に考え、共有、実践し、利用者様にとってより良い生活が送れるように努めているところです。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	散歩時の挨拶。または、行事ごとに地域の方々を招待できるように心がけています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	お正月には必ず地域の方々に獅子舞などをお願いし、来訪していただき、利用者様の喜ばれる顔を地域の方にも見ていただいております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度は運営推進会議を開催出来ていない。今後定期的開催できるように体制を整えていく。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	役所の担当の方に定期的に様子をお知らせしたり、利用者様との面談の場を持っていただき、より良いケアに取り組んでいくように心がけています。		

蘭寿おりもと

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	常に利用者様の安全を考え、全員の方々が安心して過ごしていけるように努力しています。しかし、病気のため玄関の施錠はやむをえない時があります。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待は身体的なことはもちろん、言葉の暴力も見逃さないように心がけています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者様が暮らしていく中で、今までの人生と変わらず過ごしていただけるように、お守りしていかなければならない。その為にももっと勉強が必要と感じています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の事前に十分な説明、質問の時間を取り、話し合いを行い、利用者様が納得できるように取り組んでいる。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族とは頻繁に面談を行い、来訪時などは必ず、2者または3者でお話している。両方の意見が違う際は、職員も介入し、ご提案させていただく場合もある。		

蘭寿おりもと

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	1ヶ月に1度の会議の他、意見、提案など反映できるように取り組んでいる。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	いかなる時でも気軽に相談が出来、ユニットの問題点を把握し、職員が解決しやすい方向に矢印を出している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修機会や介助方法など疑問を早急に解決できるように勉強し、ユニットに反映していく。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム同士での交流を重ね、認知症の取り巻く環境やどうかかわりを持つか互いに勉強し理解し、ユニットに反映している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	今まで過ごしてこられた人生を尊び、受け入れ出来るだけ近い生活状態を確保し、安心して過ごしていただけるように心がけている。		

蘭寿おりもと

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の見学でご家族とお話し、今までの様子などをお聞きし、ホームの「利用者様本位」の考えを説明し、納得いただくようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	24時間生活変化シートを活用、1週間後にご家族への連絡など初期対応には、特に対応の見極めに努め、生活全般の解決すべき課題を目標事項にし、支援内容を決定している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様の立場になれるように心がけ、いつも敬う気持ちを忘れないように心がけている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の代わりにはなれませんが、穏やかに楽しく生活できるように常に努力している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や友人への電話、お手紙など要望されると、職員も関係が途切れぬように協力し、お手伝いできることは、出来るだけ意に沿うようにしている。		

蘭寿おりもと

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	常に利用者様全員に目を配り、良好な関係が築けるように努力し、孤立してしまわないように常に心がけている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後もご家族へ連絡したり、訪問するなど出来る範囲で努めている。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様には時折、居室に伺い、希望や困っている事などのお話を聞き、ご本人の希望に沿える様に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までの生活歴などコミュニケーションの中から把握に努め、利用者様の1番良い心地よい生活環境を作り、より近いものにしていくように心がけている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	常に注意深く様子観察を行い、他職員からの情報等交え把握に努めている。		

蘭寿おりもと

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回の会議はもちろん、ケアカンファ等で職員の意見を出し合い、常に利用者様の状況把握に努め、よりよいケアを行えるように取り組んでいる。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録や申し送り、連絡ノートを活用し情報を共有しながら業務を遂行し、色々な情報を元に介護計画の見直しに努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	情報を共有する事により変化に対応出来るサービスを皆で実践し、色々な人意見を取り入れ、多機能化に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の資源を把握する様に努め、利用者様が安全で豊かな暮らしができる様に努めるようにしています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科、神経内科、皮膚科、歯科などの往診があり、普段の健康状態のチェックおよび早期発見、早期治療を心がけている。また、入居前のかかりつけ医にも受診できるように配慮している。		

蘭寿おりもと

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週看護師に状況報告を行い、適切な受診や看護を受けられるように努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	往診医が専門的な症状や入院に繋がるような病状の時は適切な病院を紹介していただき、常に病院関係者との関係づくりに努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	現状では終末期を迎えた利用者様がないが、可能性のある利用者様ご家族とは話し合いを行なっている。また利用契約時に現在の医療対応、施設対応の限界について説明を行っている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時対応のチャート表を電話の近くに掲示したり、説明したりして実践力が付く様に努めています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の消防署指導の下避難訓練の行い、避難経路や消火器のある場所、使い方など確認している。また、地域の方々にも協力をお願いし、協力できる体制をとっている。		

蘭寿おりもと

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室に入室する際のノックはもちろん、トイレ誘導の声掛けにも気を配り、相談事などはご本人の居室で行うようにしている。また、否定的言葉を使わないようにしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お誕生会のご本人の好きなメニューを決めていただき、クリスマス会などは、全員の意向でメニュー作成を行い、自己決定できる機会を作っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	常に利用者様の把握を行い、体調やペースに合わせ、利用者様の希望に沿った生活が送れるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出時はご本人の希望や職員と相談を行い、洋服のコーディネートはいつでもどんな場合でも提案させていただいている。また、マニキュアも利用者様希望により行なっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	週に3度自主メニューの作成を行い、利用者様が食べたいもの、季節の物などを取り入れ、作成するようにしている。		

蘭寿おりもと

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取には特に注意し、お散歩後や入浴後は喉を通りやすいように冷たいものを提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事後のケアはもちろん、外出後の手洗い、うがいも心がけている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	車イスの方にもトイレ誘導を心がけ、尿意を持っていただけるように、排泄パターンなどを考慮し、声かけを行なっている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量はもちろん、牛乳や食物繊維の豊富なもの、オリゴ糖などを食事に取り入れたり、運動、規則正しい生活など個々に応じた予防に努めています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴があまり好きでない方には、早い時間からなど、ご本人の希望やタイミングにあわせ、対応方法もたくさん用意し、対応している。		

蘭寿おりもと

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間のパット交換などご本人との話し合いなどから時間を検討したり、日中も声かけなどから負担にならないように配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	普段から利用者様の様子観察を怠らないようにしている。その他、薬について内服一覧を作成し、内服薬の確認、成分などの把握に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	みんなで一緒に楽しめるレクなどを考えている。また、外食なども楽しみの一つである。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節に応じてお花見や外食、買い物、地域の方々と外出をしたりしている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理出来ない人に関しては事務所で預り、利用者様が必要ときに渡して、使えるようにしている。		

蘭寿おりもと

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族には職員がダイヤルを回したり、字の書けない方には、代筆をしたりし、協力できるようにしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に清潔であるように心がけ、室温も適温であるようにし、廊下やりビングなどは季節の花や折り紙などで細工し、雰囲気を出すように工夫している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングのイスとは別にソファを用意し、思い思いに暮らせるように工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人、ご家族と共に、テレビなど家具の配置を検討したり、入居後も希望に合わせ対応できるように取り組んでいる。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	食後の食器拭きや洗濯物たたみなど協力をいただいたり、居室前には、ネーム板をかけ、表札に見立て、入り口がわかるようにしている。		

目 標 達 成 計 画

事業所名

蘭寿おりもと

作成日

平成23年5月12日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	利用者本位の徹底	全職員が利用者本位の意識を徹底し、実践していく	定期的な自己評価、面談の実施。会議などでの利用者本位の取り上げ。事例検討の実施。	12 ヶ月
2	4	運営推進会議の定期的な実施が行なえていない	運営推進会議の定期的な実施	定期的実施に向けての体制作り。6月に今年度1回目の運営推進会議を実施を予定。	6 ヶ月
3					
4					
5					